

# Vol.241 今どきの卒業式事情

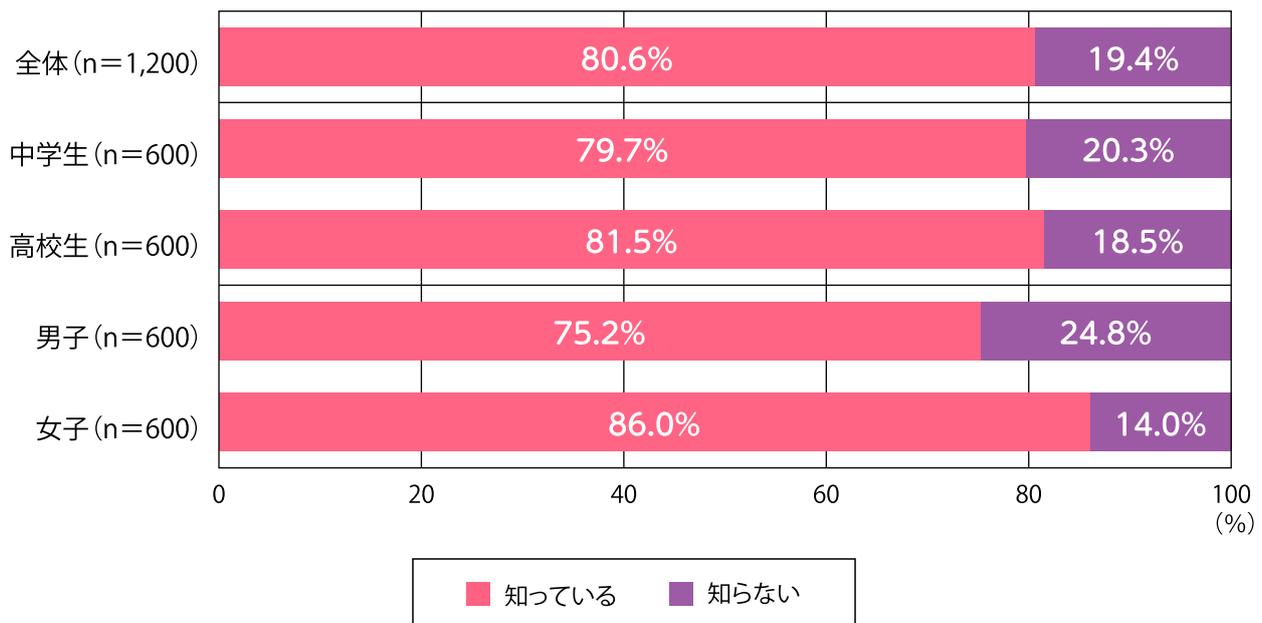
日本の卒業式では、制服の第二ボタンを贈るという風習があります。制服は生徒たちにとって、入学から卒業までの学校生活を共に過ごした思い出の詰まった存在です。その制服の第二ボタンをあげたり、もらったりするという風習は、日本特有の文化として長年親しまれてきました。では、現在の卒業式でも制服の第二ボタンは贈られているのでしょうか？今回は、全国の中学・高校生1,200人を対象に、第二ボタンの風習の認知度、卒業式に生徒間で渡しているもの、卒業式の日に行っていることについて調査しました。



**調査概要**  
 調査対象：全国の中学・高校生 1,200人  
 調査方法：インターネットリサーチ  
 実施時期：2026年1月

## Q 1. 第二ボタンの風習の認知度

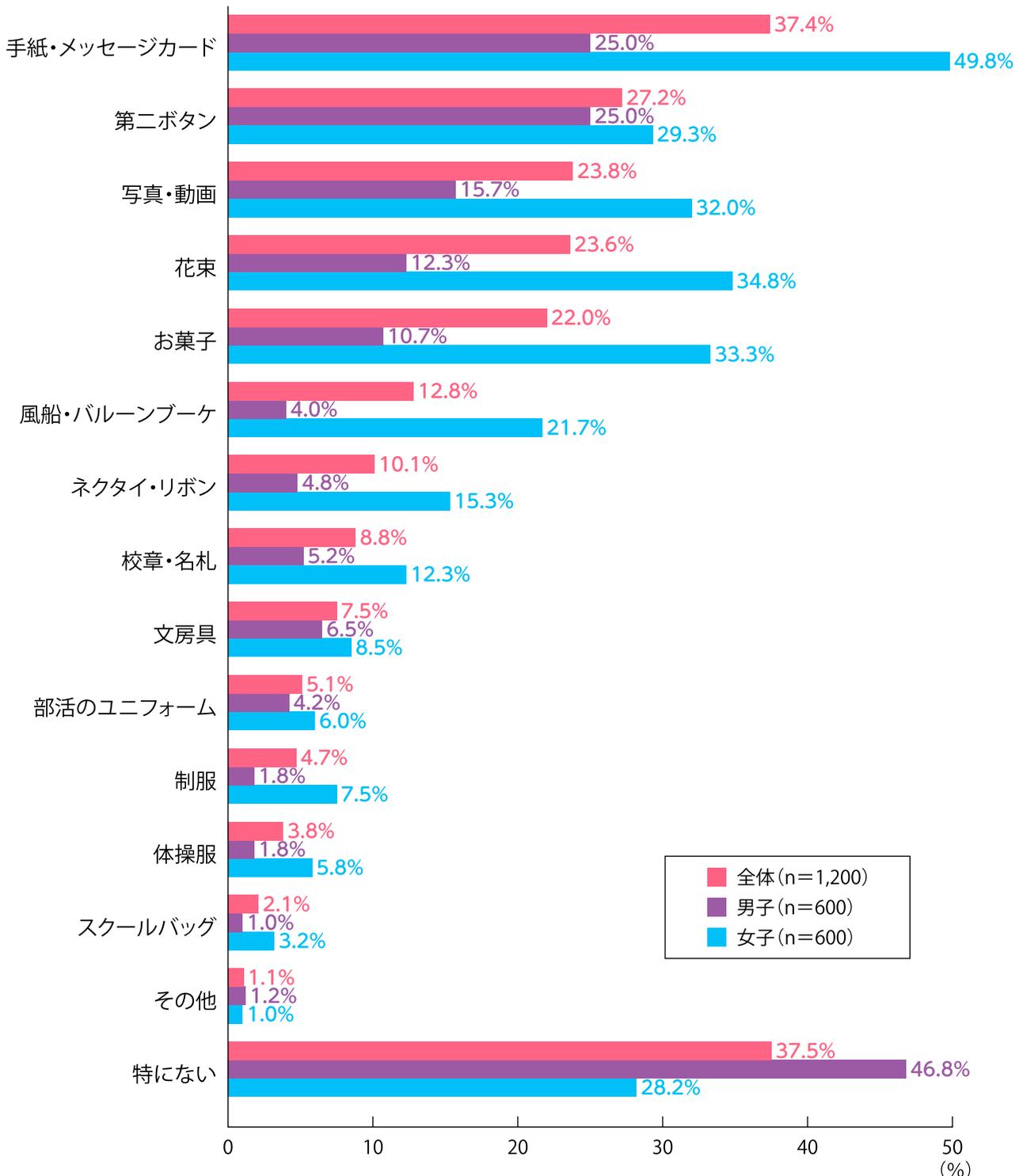
制服の第二ボタンをあげる(もらう)という風習については、中学・高校生は「知っている」(全体80.6%、中学生79.7%、高校生81.5%、男子75.2%、女子86.0%)という結果で、約8割の生徒が「知っている」と回答していました。特に女子の認知度は9割近くに達し、第二ボタンを贈るという風習は現在の中学・高校生の間でも広く浸透しています。



【図1】 卒業式で、制服の第二ボタンをあげる(もらう)という風習を知っていますか。(単数回答)

## Q 2. 卒業式に生徒間で渡しているもの

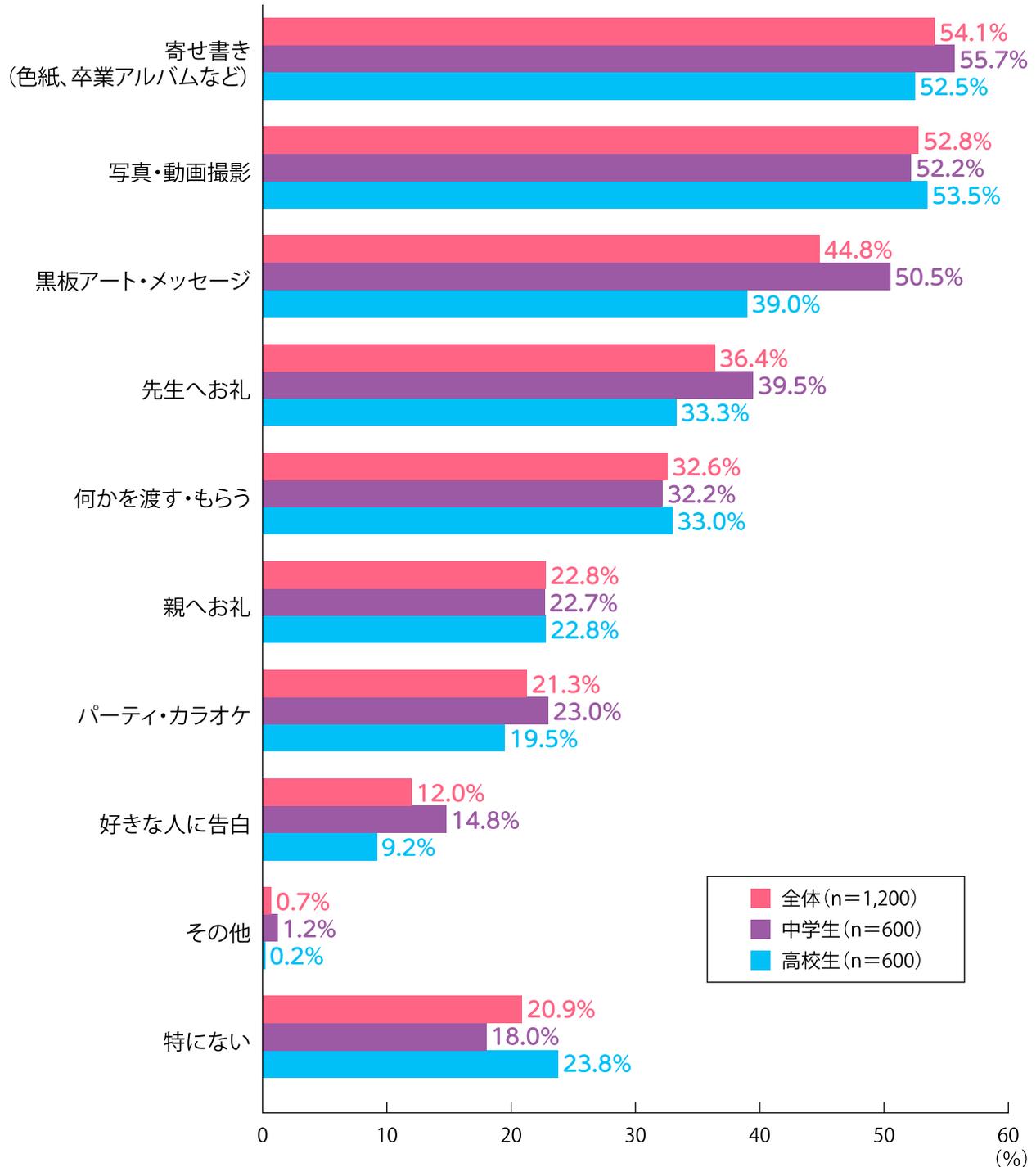
卒業式の日には生徒間で、渡したり／もらったりしているものは、「手紙・メッセージカード」(全体37.4%、男子25.0%、女子49.8%)が最も多く、特に女子は半数を占めました。次に、「第二ボタン」(全体27.2%、男子25.0%、女子29.3%)は3割弱という結果になりました。続いて、「写真・動画」(全体23.8%、男子15.7%、女子32.0%)、「花束」(全体23.6%、男子12.3%、女子34.8%)、「お菓子」(全体22.0%、男子10.7%、女子33.3%)、「風船・バルーンブーケ」(全体12.8%、男子4.0%、女子21.7%)も人気を集めていました。また、学校生活で身に付けていた「ネクタイ・リボン」(全体10.1%、男子4.8%、女子15.3%)や「校章・名札」(全体8.8%、男子5.2%、女子12.3%)などもあげられました。生徒間の授受については、総じて女子生徒の実施率が高い傾向にあります。



【図2】 現在、卒業式のときに生徒間で、渡したり／もらったりしているものは何ですか。(複数回答)

### Q 3. 卒業式のイベント（式典行事以外）

卒業式の日、式典とは別にどのようなことを行っているのかを聞いたところ、「寄せ書き（色紙、卒業アルバムなど）」（全体 54.1%、中学生 55.7%、高校生 52.5%）、「写真・動画撮影」（全体 52.8%、中学生 52.2%、高校生 53.5%）、「黑板アート・メッセージ」（全体 44.8%、中学生 50.5%、高校生 39.0%）が上位を占め、半数以上の中学・高校生が「寄せ書き」と「写真・動画撮影」を行っています。また、「先生へお礼」（全体 36.4%、中学生 39.5%、高校生 33.3%）、「親へお礼」（全体 22.8%、中学生 22.7%、高校生 22.8%）といった感謝の気持ちを伝えるという回答もみられました。卒業式のイベント実施状況については、中学・高校生ともに同様の傾向がみられました。



【図3】 卒業式の日、式典行事とは別で、行っているイベントは何ですか。（複数回答）

 まとめ

日本の卒業式の起源は、明治5年(1872年)頃とされています。当初は免状を渡すだけの実務的なものでしたが、明治20年代頃から卒業証書の授与だけでなく、恩師や友人との別れを惜しむ現在のような式典へ変化しました。こうした日本独自の卒業文化が育まれる中で、後に制服の第二ボタンを大切な人に贈るという風習が昭和時代に生まれました。

今回、全国の中学・高校生1,200人を対象に、卒業式で制服の第二ボタンをあげる(もらう)という風習の認知度を調査したところ、「知っている」(全体80.6%、中学生79.7%、高校生81.5%、男子75.2%、女子86.0%)という回答が全体では約8割、特に女子では9割近くに上りました。第二ボタンを贈るという風習は、現代の生徒たちの間でも広く知られていることがわかりました。その中学・高校生が、卒業式のときに生徒間で、渡したり／もらったりしているものは、「手紙・メッセージカード」(全体37.4%、男子25.0%、女子49.8%)、「第二ボタン」(全体27.2%、男子25.0%、女子29.3%)という結果で、「写真・動画」、「花束」、「お菓子」、「風船・バルーンブーケ」といった思い出づくりや記念になるものが人気でした。また、学校生活で身に付けている「ネクタイ・リボン」や「校章・名札」なども卒業式の日に渡したりもらったりする風習もみられました。さらに、卒業式の日、式典以外で行っていることは、「寄せ書き(色紙、卒業アルバムなど)」(全体54.1%、中学生55.7%、高校生52.5%)、「写真・動画撮影」(全体52.8%、中学生52.2%、高校生53.5%)が半数を超え、「黒板アート・メッセージ」、「先生へお礼」、「親へお礼」といったメッセージや感謝の気持ちを伝える傾向もみられました。現在の中学・高校生の間では、制服姿に花束やバルーンブーケ、黒板アートなどの“映える”アイテムを取り入れ、友人と写真や動画を撮影しSNSで発信する思い出づくりがトレンドとなっています。一方で、制服の第二ボタンをあげる(もらう)という風習や、手紙・メッセージカードや寄せ書きをしたり、先生や親へお礼を伝えたりするなど、自分の気持ちを伝えるという伝統的な行動もみられました。

思い出は写真や動画で残す時代になりましたが、制服の第二ボタンを贈るという文化は世代を超えて受け継がれています。そして、卒業式の日、生徒たちが制服姿で写真や動画を撮りたがるのは、毎日当たり前のように着ていた制服が、実は「青春」という特別な時間のユニフォームだったと気づくからではないでしょうか。制服を通じて心を通わせる日本の美しい卒業文化を、これからも大切にしていきたいものです。

毎月最終  
火曜日  
更新

## カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。  
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>